

橋川市長と語る第5次草津市総合計画第3期基本計画(案) タウンミーティングでの意見と対応について

会場	番号	意見	対応	担当課	変更の有無
人権センター	1	(発言) まちなかを活かした魅力向上において、まちなかの活性化とあるが、草津駅前には西口・東口ともに混雑しており、煩雑に感じるので、混雑改善と、さらにすばらしい草津駅、草津市として、魅力あるまちづくりをご検討いただきたい。	草津駅、南草津駅共に混雑しており、課題と考えています。渋滞の緩和のための交通の整理をどうしていくのか、今年度に予算を確保し、調査・検討を行っています。その調査・検討結果を基に今後、事業の展開をしていきたいと考えております。	交通政策課	無
人権センター	2	(発言) 市街化調整区域と市街化区域との生活の厚情があまりにも違う。生活利便性の面において市街化調整区域は遅れており、困っている。 また、歩いて買い物に行けるところが欲しい。地域の要望・意見として、お考えをお聞きしたい。	草津市は全体としては若いまちですが、地域差があり、山田、笠縫、常盤など湖辺地域は30%近い高齢化率であり、町内会単位にすると40・50%と進んでいる町内会もあります。超高齢化社会にどう対応していくかは大切ですが、行政だけでは不十分なので地域のコミュニティで助け合って生活していくコミュニティ振興を市が支援して町内会作りを進めていかなければならないと考えております。 また、買い物について、調整区域の利便性の確保においては、採算性の面から民間の店舗が入っていくのは難しいと考えております。他市では出張販売として民間の業者が入っている例もあるので、草津においても取り組みはできないものか考えており、各地域の課題を踏まえて、市民の皆さんとまちづくりをしていきたいと考えております。	まちづくり協働課 商工観光労政課	無
人権センター	3	(意見書) 総合計画において、新しく建設する建物については、常にこれからの管理費を考えて、本当に必要な所に財源を使っていたいただきたい。	平成28年3月に策定した「草津市公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設等の新設、更新の際には、原則として民間の技術・ノウハウ・資金等の活用や民営化による運営の可能性の検討を行うとともに、既存施設の統廃合や跡地の売却等による財源の確保等も視野に入れながら、時代の変化と市民ニーズに応じたサービスの提供、公共施設等の維持管理費や更新費等の負担の軽減、将来を見据えた公共施設等の管理に必要な財源の確保等を常に意識して検討を進めていきたいと考えております。	経営改革室	無
人権センター	4	(意見書) 草津駅を中心に周辺道路から向かう道が、時間帯によって非常に混雑している。(草津から守山へ向かう際は対策が取られている)	駅周辺での交通実態調査を踏まえながら、公共交通の利便性の向上と利用しやすい環境整備の検討を行い、事業の展開をしてまいりたいと考えています。	交通政策課	無

橋川市長と語る第5次草津市総合計画第3期基本計画(案) タウンミーティングでの意見と対応について

会場	番号	意見	対応	担当課	変更の有無
人権センター	5	(意見書) まちを美しく(心地よく)するために、野鳥のフンの対策を考えてほしい。	野鳥による糞等の被害については、原則野鳥の集まる樹木や施設の管理者に対応いただいておりますが、環境課といたしましても、市民の方への防鳥機の貸出など、野鳥対策について引き続き協力をしてまいります。	環境課	無
人権センター	6	(意見書) 市民が困っている問題については、近隣都市が行っているように、市条例を制定する等、積極的に検討いただき進めて欲しい。(例:独居高齢者のゴミ出し問題、野良猫迷惑など)	本市では、市民の皆様が困っている課題については、従来から必要に応じて条例を制定し対応してきているところでございますが、御意見いただいた例示の2件につきましては、まずは条例化ではなく、その対策等から検討してまいりたいと考えております。 例示以外の事案も含めまして、今後も、条例を制定しなければならない必要性が生じた場合は、検討してまいりたいと考えております。	企画調整課	無
人権センター	7	(意見書) 説明に時間をかけすぎている。市民の参加が少ない現状を鑑み、市民がより多く参加でき、「意見交換」と「生の声」を傾聴できるように、まずは基本の参加者の確保が最低必要条件ではないか。PRや広報にも更に創意工夫を図っていただきたい。	タウンミーティングを実施させていただくにあたり、広報くさつ、市ホームページやまちづくり協議会への周知等を図るなど、PRや広報に工夫しながら市民の皆様の参加を促してまいりました。御指摘のとおり、参加された市民が少なかったことから、より多くの市民の皆様に参加いただけるよう、今後もPRや広報の創意工夫を図ってまいります。	企画調整課	
人権センター	8	(意見書) 「障害」→「障がい」と使ったほうが良いと思う。	「障害」の表記につきましては、様々な意見がありますが、国におきましては、法令等における「障害」の表記について、当面、現状の漢字の「障害」を用いることとしており、表記については今後も継続的に検討されることから、その動向等を注視してまいりたいと考えております。	障害福祉課	無
人権センター	9	(意見書) 空き家対策について、平成28年7月に調査を実施されたが、その調査結果を市役所に訪ねても具体的な聞き取りができない。空き家の近隣住人は大変困っている状況であることから、空き家対策の具体的な取組を公表して欲しい。	平成28年7月から8月にかけて行った空家実態調査結果を踏まえ、空家等対策特別措置法に基づく「草津市空き家等対策計画」を平成28年度中の策定を目指し作業を進めています。実態調査結果も載せた計画(案)について、平成28年12月20日から平成29年1月19日にかけてパブリックコメントを実施させていただいたところであり、その結果および計画(案)については、別途市ホームページで公表させていただきます。計画に基づき、適切な管理がなされていない空家に対しては、所有者等を調べ、適切に管理を行うよう指導していきたいと考えております。	建築課	無

橋川市長と語る第5次草津市総合計画第3期基本計画(案) タウンミーティングでの意見と対応について

会場	番号	意見	対応	担当課	変更の有無
人権センター	10	(意見書) 以前、要望書を提出したが、道路信号を設置して欲しい。特に幼稚園、小中学校の通園・通学路における浜街道の横断の際に「ヒヤリ・ハット」が続発している。以前、死亡事故が発生した地点でもある。	信号機の設置につきましては、滋賀県公安委員会が所管しておりますため、市といたしましては、必要に応じて継続的に要望してまいります。	交通政策課	無
市役所 2階特大	11	(発言) 人口減少になっていくということだが、健全な財政運営をするためにも、人口減少は何かして食い止めようとしているのか、仕方がないという前提でまちづくりをしようとしているのか、どのようなお考えか。	何とか食い止めたいと思っています。草津市人口ビジョンでは2040年までは人口が増加していく見込みを立て、出生率を上げていこうと考えている。1.43から段階的に2.08まで上げていこうと国でも目標を掲げているので、草津市もそれに応じて出生率を上げていく取組をしていくことを考えております。今後としては、出生率の向上を重視して人口を維持し、国全体でもモデル的な取組が広がっていき、人口の大幅な減少がないようにしていきたいと考えております。	企画調整課	無
市役所 2階特大	12	(発言) 笠縫東学区はまちなかゾーンと共生ゾーンにまたがっている学区で高齢化も進んでおり、空き家も見られる。市街化調整区域、市街化区域に見直し、有効な土地利用による地域の活性化を図って欲しい。また、学校の空き教室を地域に開放して有効に活用できるよう検討いただきたい。	土地利用について、都市計画の分野での市街化区域、調整区域の見直しを数年に1度しておりますが、様々な条件があり、市街化区域を一気に拡大することはできません。特に農業振興地域となっている場合は制約があります。 笠縫東小学校の空き教室を市民の皆さんに開放することについて、市内の子供の数が増えている中では空き教室があるとは考えにくいですが、確認いたします。 【笠縫東小学校の空き教室について】 現在、笠縫東小学校において、空き教室はありませんが、今後、児童数が減少し、空き教室が生じた場合は、地域の皆さまへの開放など、有効な活用について検討していきます。	都市計画課 教育総務課	無
市役所 2階特大	13	(発言) 山田学区では、まめバスの日曜日の運行がない。近江バスも土日は草津駅午後8時40分が最終。平日は午後10時ごろまでである。フェリエでの催しがあっても午後8時26分の電車に乗らなければならない。高齢のため車の運転も辞めようと思っている。まめバスの日曜日の運転についてどのようなお考えか。	コミュニティバスは地域の、特に高齢者の利便性、交通を守っていこうとする取り組みであり、民間のバスの通っていない空白地を選定して走らせております。運行の条件としては、税金での運営なので、乗る人の数が一定以上取れる路線、時間帯で運行を決めています。しかしながら、地域の状況を見て路線や時間帯の見直しをしておりますことから、ご要望については、見直しの際に変更できるのか検討したいと考えております。各小学校区でまとまっただけであれば、社会福祉協議会を通じて車を貸し出し、地域の皆さんで運行していただくこともできます。現時点では志津南学区と山田学区で実施しており、デマンドタクシー的に運行し、市も支援しております。	交通政策課	無

橋川市長と語る第5次草津市総合計画第3期基本計画(案) タウンミーティングでの意見と対応について

会場	番号	意見	対応	担当課	変更の有無
市役所 2階特大	14	(発言) 立命館大学では非常に多くの外国人留学生を預かっており、計画の中で外国人も住みやすいまちづくりというセンテンスを入れていただきたい。例えば標識の多言語化や市職員の英語対応能力の向上と職員の増加の対応をお願いしたい。これまでの交流という域ではなく住民の一部として考えていただきたい。 (意見書) タイ、インドネシア等の開発途上国の都市との協定も視野に入れてほしい。	基本計画の中では、多文化交流の促進として掲げております。具体的な取り組みとして各施策に落とし込んで進めていかなければならないと考えております。龍谷大学、立命館大学も更に留学生の受け入れを増やしていくと聞いており、このような方々が暮らしやすい、住みやすいまちを作り上げていく施策・対策は更に検討していきたいと考えております。具体的な提案があれば教えていただきたい。また、これからは、多文化交流ではなく、多文化共生として認識していかなければならないと考えております。 【意見書の内容について】 新たな海外都市との姉妹都市提携、友好交流都市提携につきましては、現時点での予定はございません。しかし、都市間交流につきましては、民間の交流を促進するうえでも、非常に有効なきっかけとなりますことから、今後、検討してまいりたいと考えております。	まちづくり協働課	無
市役所 2階特大	15	(発言・意見書) 歴史資産を生かしたまちづくり、自然的歴史的景観の保全と活用、都市景観の形成とあるが、矢橋港は由緒があり、歴史的にも古いが、漁港らしい景観が保たれていない。ぜひ矢橋港も歴史資産として保全を進めていただきたい。観光の目玉になる場所だと思うので、土地確保も視野に潰さないように取り組んでいただきたい。	矢橋港においては市の財産ではないこと、前面に矢橋帰帆島があり、港から琵琶湖を見渡せないという景観上のハンディがあり、脚光を浴びる形にするのは難しい面もありますが、継続して取り組んでいきたいと考えております。	商工観光労政課	無
市役所 2階特大	16	(発言・意見書) 英語教育について、安易なカタカナ活用は事実を正しく伝えられないだけでなく、間違った英語知識を広げることにつながる。現場の英語の先生からも指摘が出ないことも残念。そのようなレベルで真の英語教育の牽引ができるのか。 英語教育には、外国の子どもたちとふれあうような機会を設けることが重要であるため、そういった交流を図っていただきたい。	中学校ではALTとして、外国の方に授業に入ってもらい、英語教育を進め、小学校では、フィリピンの英語教師とインターネットで画面を通して英語を直接聞いたり、会話したりすることで英語教育を進めております。今後もさらに英語教育の推進していくために検討を行っていきます。	学校教育課	無
市役所 2階特大	17	(意見書) 有意義な会でした。			

橋川市長と語る第5次草津市総合計画第3期基本計画(案) タウンミーティングでの意見と対応について

会場	番号	意見	対応	担当課	変更の有無
市役所 2階特大	18	(意見書) 草津川跡地が春からオープンするようだが、どうなるのか？うまく運用されるよう心配している。	琵琶湖からJR東海道新幹線まで全長7kmある、草津川跡地のうち優先整備区間である区間2(メロン街道から浜街道まで)と区間5(JR琵琶湖線から市道大路16号線まで)について、平成28年度に整備工事を終え、平成29年4月から草津川跡地公園(区間2)および草津川跡地公園(区間5)として都市公園の供用を開始いたします。 なお、本公園の管理につきましては、指定管理制度を導入し、各々の公園の特徴を活かし、にぎわいを創出し、人と自然が触れ合い、うるおいがもたらされる公園となるよう適切に管理を行ってまいります。	草津川跡地整備課	無
市役所 2階特大	19	(意見書) 市長さんが直接説明・回答していて好感が持てました。			
市民交流 プラザ	20	(発言) 介護予防サポーターポイント制度について、詳しく教えていただきたい。	65歳以上の方を対象に、介護予防サポーターとして活動いただいた時にポイントを貯めていただける制度のことです。認知症に対するサポート活動、いきいき百歳体操実施の際のサポート活動や、それらのサポーターの研修等が対象となります。また、この制度はポイントを貯めていただくだけでなく、サポーターとして活動いただく方の介護予防を行うという側面も持っています。	長寿いきがい課	
市民交流 プラザ	21	(意見書) 別途要望を提出させていただきます。			